

教科	理科	学年	第3学年	担当者	伊賀原 みさき
----	----	----	------	-----	---------

[教科目標]

- ・基本的な科学知識を身につけさせる。
- ・自ら積極的に学習に取り組み、科学的な関連に気付かせる。
- ・目に見える事象を原因から考える力を身につける。

[使用教科書・教材等]

未来へ広がるサイエンス3、理科資料集、ノート、プリント、ファイル、ワーク

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学 期	生物の細胞と生殖 1 細胞と生物の成長 2 生物のふえ方 運動とエネルギー 1 力のつりあいと合成・分解 2 力と物体の運動 3 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長や生殖を、細胞レベルでとらえ、親から子へ形質が伝わることで生命の連続性が保たれることを理解し、生命尊重の態度を身につける。 ・遺伝の規則性と遺伝子の関係を理解し、その特性を知る。 ・エネルギーにはいろいろな種類があり、それらが移り変わってもその総量は保存されることを理解する。エネルギーの変換 熱の伝わり方、変換効率を理解できる。 ・力の合成、分解が理解できる。 ・物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート ・資料集 ・ファイル
	2 学 期	4 いろいろなエネルギーとその移り変わり 5 エネルギー資源とその利用 化学変化とその利用 1 水溶液とイオン 2 酸・アルカリとイオン 地球と宇宙 1 地球の運動と天体の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・力の合成、分解が理解できる。 ・物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解する。 ・化学変化によるエネルギーや金属資源の取り出しを理解し、身のまわりで利用されている実例を化学変化、エネルギーの視点で考えられるようする。 ・水溶液の電気伝導性を理解する。 ・原子の成り立ちとイオン、電池の電極で起こる反応を理解する。 ・酸、アルカリの特性を理解し、中和を理解することができる。 ・太陽系の一員である地球の特徴を理解し、その運動によっておこる日周運動、年周運動、季節の変化を理解する。
3 学 期	2 太陽系の天体 3 恒星の世界 かかわり合う自然 1 自然界のつり合い 2 人間と環境 3 自然と人間のかかわり 4 科学技術と人間 5 科学技術の利用と環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系外の宇宙について認識し、時間と空間の概念を習得する。 ・金星・月の満ち欠けを理解する。 ・放射線の性質を理解することができる。 ・自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解する。 ・微生物のはたらきや自然環境を調べ、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりする能力や態度を育成する。 ・地球規模でのプレートの動きを理解できる。地域災害について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・補助教材 ・ノート ・資料集 ・ファイル

[評価の観点と評価の方法] (通知表のつけ方)

評価の観点	自然現象へのへの関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解
	20%	20%	20%	40%
評価の観点の趣旨	授業の準備をし、主体的に、意欲的に学習に取り組もうとする態度など。	色々な自然現象や事象より、科学的な見地で判断、分析、思考する力を持つ。	積極的に実験・観察に取り組み、基本操作を確実にに行い、記録、考察する。	学習したことがらをよく理解し、基本的な知識を身につけている。
評価の方法	毎時間の授業の様子(忘れ物・遅刻・発表等) 宿題やノートなどの提出物	定期テスト レポート ノート	定期テスト 観察・実験の態度 レポート	定期テスト (小テスト)

[授業の受け方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ・授業準備ができていること。(ベル着して、授業準備物が出せていること)
- ・自主的に学習する内容に取り組むこと。
(授業の復習・予習などや問題集など自分で学習課題を準備しその課題に取り組むこと。)
- ・私語をせず、しっかり話を聞き、積極的に発表すること。
- ・教科書やノートなど重要と思えるところは、アンダーラインをひいたり、色を変えたりなどの変化をつけ、工夫してまとめること。
- ・人の発表や話はしっかり聞く。また、自分が答えるつもりで答えを準備しておくこと。
- ・実験や観察の際は説明をしっかりと聞き、遊び気分で取り組まず、集中して操作を行うこと。また、疑問に思ったことは必ず確認をしておくこと。特に、準備片付けは班員と協力して行うこと。観察・実験結果から考察を行い、きちんとレポートにまとめること。

[家庭学習の進め方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

- ・返却された定期テストは、何度でも復習をして理解を深めておくこと。
- ・少しの時間でも家庭における学習時間をつくること。(問題集を活用し、継続的に取り組むのがよい。)
- ・重要語句は、英単語や漢字のように何度も書いて覚えること。
- ・常日頃使っているものに関心を向け、疑問に思う気持ちを大切にすること。
- ・理科ということにこだわらず何事にも関連づけた意識を持とう。
- ・将来のことを考え、自分でできることはなんでもチャレンジしていこう。

